

自然発火にご注意ください

近年、塗料を拭き取ったウエス等が自然発火し、火災の原因となる事故が起きております。

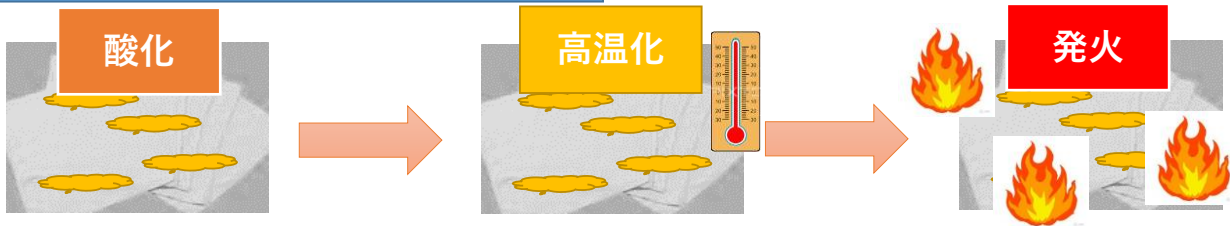
ここでは塗料をより安全にお使い頂く為、塗料の自然発火に関して、ご注意頂きたい内容をご紹介します。

自然発火とは？

人為的に火を付けることなく、出火する現象を指します。

どんな時に自然発火するのか？

酸化反応による発熱です。



塗料やワックスを拭き取ったウエスを丸めたり、重ねたりして放置すると、酸化反応熱が蓄熱され、逃げ場を失った熱が発火温度に達する事で発火します。

※塗装ブースのフィルターに堆積したダストにも注意が必要です。

※塗膜は自然発火しません。

塗膜は薄く塗り広げられた状態の為、熱がこもる事はなく、自然発火は起こりません。一般的な塗膜の厚みでは、酸化反応による発熱よりも熱放射の方が早いからです。

自然発火する可能性のある塗料

『アルキッド樹脂系塗料』です。

全ての塗料が自然発火する訳ではありません。

可能性があるのは油脂を基本成分としている『アルキッド樹脂系塗料』です。

※ラベル表記をご確認ください。

予防方法

- ①塗料やワックスを拭き取ったウエス、集めた塗料カス等は、山積みしたり、容器やビニール袋にまとめたりせず、多量の水に浸す。
- ②塗装ブース内、フィルター、排気装置に付着した塗料ミストは、頻繁に除去、清掃する。
- ③安全な焼却設備がある場合は、そこで焼却する。